

男女4人で初体験 初夜は海辺の旅館 6泊の日程で
4Pを楽しむ4人



ゆっくりと一両編成の列車がのどかな無人駅にとまる。

青々と田舎の景色が広がっている。

ところどころ錆びついた駅のホームはどことなく下車する乗客たちに懐かしさを漂わせている。

キキーッと少し古い枕木に車両の鉄がこすれる音。

下りてきたのは4人の男女たちだ。

4人とも金髪である。

香水をつけている。風に髪をなびかせる女の子二人。

股すれすれの短い黒いホットパンツからは、太めの太ももが伸びている。

歩くたびに内腿が少しこすれ合う、ムッチムチの具合。

まだ4人とも若い。

もちろん男子たちの同じく短い半ズボンの股間は動く際に邪魔になるほど膨らみを帯びている。

物凄い大きさの超巨根ペニスがしまわれているのだ。

手をつないで駅を出る4人。

すぐそばには煌々と広い海が広がっている。

太陽の光を即座に跳ね返し、青い海はどこまでも広がり光っている。

「楽しみだねー海っ！！キャハハハッ！！」

「ここの宿で・・・俺たちするんだよなっ！！」

この海辺の宿で、4人は大乱交をする予定である。

4人は期待の渦に今にも飲みこまれそう。浮足立ち弾みどうにかなってしま

いそうである。

手をつないだまま、インターネットで予約していた海の宿へ向かう4人。

「ホント、楽しみだねー」

笑い合う4人。仲睦まじく慣れ親しみ、まさに分かり合っているという感じ。

ウキウキ弾む心持ちの4人にとって夜になるのはすぐであった。

海辺は地元住人たちがちらほら犬の散歩やウォーキングをするくらいで、昼夜にかかわらず人気はほぼない。

海水浴シーズンは終わってしまった秋の最中だ。

————— 体験版は以上になります。—————